

(続) 内申点アップの最大のヤマ場

2学期最大のヤマ場「期末テスト」が始まりました。特に受験生にとってはこのテスト結果が通知表数値に大きく関わります。1学期と2学期の通知表を元に各教科の内申点数(5段階評価)が決まります。

1学期「5」・2学期「5」の生徒は99%内申点が「5」です。

1学期「4」・2学期「5」の生徒は70% 「5」

1学期「5」・2学期「4」の生徒が50%~70% 「5」

最終的には1月冬休み明けの課題テストで決まります。つまり、どちらかの学期で「5」を取れるようにすることが内申点を上げるコツなのです。

もう一つ、忘れてならないのは「副教科は内申点7.5」であるということです。例えば美術が「3」→「4」になった場合内申点は7.5点アップですが、入試当日のテストに換算すると2倍の「15点分」加算されることになるのです。〔野垣〕

11、12月のおもなスケジュール

11/26	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 期末直前ゼミ・中2保護者会
12/2	金	教育相談会①【授業なし】
3	土	教育相談会(予備日)【授業なし】 中3入試突破ゼミ【月3回】
4	日	中3兵庫進学模試【会場受験】
5	月	教育相談会②【授業なし】
6	火	教育相談会③【授業なし】
10	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
17	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
19	月	冬期講習スタート
30	金	年末年始絶対合格感動合宿① やる気UPコンサート
31	土	【休み】

まずは「知ること」から

最近、子どもさんたちと関わっていて、常々思うことがあります。高校の恩師に教わった、

「まずは知ることから始めなさい」

という言葉です。相手とコミュニケーションをとるには、相手を「知る」ことが第一であるということです。相手を「知りたい」「知ろう」としている姿勢を見せることによって、相手もまた、自分との関わりを持とうとしてくれると教わりました。その言葉の意味が、少しずつ、分かってきたように思います。

学校でも同じです。相手を「知ろう」という姿勢で先生と会話すること。学校でそれを実践することができれば、通知表の評価も変わってくるかもしれません。〔厚地香里〕



特進館ノートがリニューアル!!
詳しい機能は上のQRコードを。

お車で送り迎えの保護者の方は、安全対策のため必ず
駐車枠内での乗降にご協力
願います。教室玄関前の停車
はご遠慮ください。

本部事務局より

12月分学費振替日は11/28(月)となります。

12/19(月)より実施の冬期講習会実施のお知らせを同封しております。

講習費につきましてはお手数ですが、当学院指定口座までお振込みいただけますようお願いいたします。

詳細につきましては明細・ご案内をご確認いただき、ご不明な点等は、事務局〔☎079-563-0300〕までお問い合わせください。

「成績が上がってない」って、本当?

中学生は、ただ今期末テスト期間の真っただ中。特に受験を控えた中3生にとっては今回のテストで内申点が最終確定するというのもあって、彼らの表情は真剣そのもの。学校が終わって、夕方4時を過ぎる頃から続々とやってきて、夜も毎日数十名の生徒が最終の11時まで自主学習に取り組んでいます。

特進館学院の最近の調査では、通知表総点〔3学期末→1学期末〕が上がった生徒は、全体のおよそ75~80%。にもかかわらず、保護者アンケート等の感触で、わが子の成績が上がったと認識されている方は3割程度しかありません。成績が下がったと伺い調べてみると、実は上がっていた…などということも珍しくありません。

以前にもお話ししたように、親はなかなかわが子の成果を認めず、ついついアラを探して辛口評価してしまう傾向にあるといえます。1教科下がって4教科上がった場合でも、主観的評価では「下がった」またはせいぜい「トントン」。全教科をパーフェクトに上げない限り認めても誉めてももらえない。もしこれが日常だとしたら、毎日何時間もがんばっている子どもたちにとって、たまったものではありません。

すべてのみなさんに、「上がった」と実感していただけるよう、私たちもさらなる努力と創意工夫を続けますので、お子さまの成果を、主観ではなく客観的な視点で見極めてあげてください。ぜひ!〔北村昌弘〕



編集後記

今年は秋が短く、すぐに冬の到来かと懸念されていました。たしかに気温でいえば暑い日と寒い日のどちらかで、秋らしく過ごしやすい日は少なかったように感じます。ただ、紅葉した木々を見るとそれだけで『秋』を感じる事ができました。気象条件が変わってくる中で、日本は春と秋がなくなるというお話しも耳にしますが、そうならないためにできることを考えたいですね。